

科目名	コミュニケーション英語 I Communication English I			担当教員	森 和憲		
学 年	1 年	学 期	前期	履修条件	必修	単位数	1
分 野	教養	授業形式	演習	科目番号	17271001	単位区別	学修
学習目標	本科目は、将来的に受講生が就職を希望する企業から求められる英語運用能力を身につけるために、その基礎力を養うことを目標としている。						
進め方	1.教科書の音読演習を通して発音と聞く力および書く力を養う 2.演習問題を解くことで語彙や文法を習得する 3.プレゼンテーションの方法論を学習する 4.タスク中心の基礎英会話を行い、話す力を養う						
学習内容	学習項目 (時間数)			学習到達目標			
	以下を含む授業を1セットとし、毎時間行う。 (26)			コミュニケーション能力の基礎となる英単語・英文法を身につける。 B1:1-3, b2:1-3			
	(1) 英語音読 教科書をシャドウイングしたり、音読したりすることでリスニング能力を涵養し、発音を矯正する。			外国語学習者向けに易しい英語で書かれた物語を辞書無しで読むことができる。 B1:1-3			
(2) 語彙・文法学習 エンジニアとして必要な英単語・英文法を身につけるために演習問題を解く。			辞書やひな形、機械翻訳を利用して、自分の専門分野に関してプレゼンテーションの原稿およびスライドを作成することができる。 B2:1-3				
(3) 英会話 タスクを与え、英語による双方向コミュニケーションを行う。			英会話を通じて、相手を理解し、自分の言いたいことを表現することができる。 B1:1-3, B2:1-3				
(4) 英語プレゼンテーション作成 工学をテーマに、5分程度の英語プレゼンテーションを3～4人1組のチームで作成する。			原稿を見ずに工学分野のプレゼンテーションができ、質問に対して、間違いを恐れることなく、簡単な表現を用いて回答することができる。 B1:1-3, B2:1-3				
英語多読 (4万語) を提出物として課する							
6月中旬の授業で TOEIC IP を実施する (3)			プレゼンテーション作成の共同作業を通じて、コミュニケーション能力を向上させる。 B3:1-5				
前期末試験							
試験問題の解説(1)							
評価方法	定期試験を 50%、プレゼンテーションの発表 20%、文法小テスト 10%・英会話小テスト 10%、提出物 10% ただし、定期試験の点数に次の TOEIC スコアに応じた係数を乗ずる。 スコア 380 以上 1,360 以上 380 未満 0.9, 340 以上 360 未満 0.8, 340 未満 0.7						
履修要件	授業時間の 3分の2 以上の出席が必要である。						
関連科目	コミュニケーション英語 II (2年)						
教 材	TEX 加藤 『新 TOEIC テスト 文法問題 での 1000 問』(アスク) 早川 幸治, ヒロ 前田 (著) 『 TOEIC(R) L&R テスト 究極のゼミ Part 3 & 4』(アルク)						
備 考	オフィスアワー 月曜日 16:00~17:00						